（日本日発、明日）

常磐毎日新聞

夕刊（昭和三十年一月二十五日第三種郵便物認可）

第2181号（火曜日）昭和32年8月6日

（一）

満腹の一〇〇円
ホップのきいた生ビール

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部電話 1、210
編集部 1、269

激動加えるも各派の運動

選挙民の熱は上らず

序盤戦

知事選挙

二つの椅子をめぐって三十日告示した知事選は早くも八日目を迎えようとしているが、最初から最後までもたつき、結局は斉藤、社会党、県労協と協議、人事協定した佐藤氏、また農協団体を基盤に市政を握る平市の三浦氏、さらに日共公認候補の四氏、諸派の肥後氏がクツワを並べて届出、ヨツ巴となって争うことになつた。序盤戦の形勢は最初低調だつた戦いも漸次激化の模様を呈してきたが、戦況は全く混沌として予断を許さないが石城自民党支部という大世帯をバックに持つ斉藤氏、きめ細かい運動を続けている佐藤氏の力もあなどれない。以上がトツプグループ、これに竹内、肥後氏があとを追つているが、事実上の決戦は斉藤、佐藤氏にしぼられた。そこで県内の約五分の一の大票田をもち当落に大きく影響する石城地方の票の行方をさぐつて見る。

これに対して佐藤派は農協をバツクに農村方面に呼びかけ、さる三日には農政刷新委石城支部を結成して委員長鷲清文、到委員長に駒木根忠造氏らを選んで平市草野、神谷、四倉町大野、大浦、勿来市方面に強い運動を起している。また政策、人事協定をした社会党、県労協の諮合は、一部革新系から脱党したとはいつても四十年という良い間県守党のメシをくつた佐藤候補を党友として応援するのはスジが通らないと強い反対の声も上がる始末でこの動きがなかなか微妙な形勢をはらんでおり、炭礦労組の票がどの程度まとまるかが課題となつている。

しかし序盤戦の動きは佐藤派の勢力が相当下部まで浸透しはじめたのである程度力をもつている。これに対して斉藤派も浜通りは絶対だど手離しで安心できない状態にあるが、総体的に見て佐藤派がのび出したとはいつてもまだまだ斉藤派が一歩先人有利という情勢にある。

労協の動き微妙

一部に佐藤支持反対も

地固め急ぐ斉藤派

切り込み突す佐藤派

大竹県政の後継者として斉藤邦吉前労働省次官を担ぐ保守陣営は早くから佐藤善一郎氏の出馬また鈴木開次郎代議士の立候補声明、さらに社会党、福島県の総評といわれ県労協の推薦、由中利勝代議士が病で倒れるなどというきさつから三転四転して初めからスツキリしない形でモヤモヤしていた。これに日共竹内候補まで反米選挙隊隊長と自称する肥後候補の四名がハツキリ態度を表明していよいよ舞台裏から正面切つて戦に入つた。結局は保守党の代表斉藤候補とこの出馬にあきたらず新しい空気を導入したいと思う人達の意志を代表する形となつた佐藤立候の一騎打になるものと思われる。

このため必勝を期す斉藤候補は出馬と同時に県内百五万票の約半数をしめる中通り地区の佐藤候補の地盤に切込みをかけ佐藤候補も牙城を守るため激しい対立を続ける一方十八万六千票を抱える浜通りの対策にも激しい攻守戦をいどんでいる。

しかし一般の選挙戦は革新系の票を大きく左右する炭礦労組の態度が期末手当斗争がやつと決つたばかりなので立候補説の固まる十六日前後にならなければ本格的なすべり出しには来た遅くこれからの動きにかかつている。

しかし斉藤候補の出身地相馬では表面的にはとに角党派を離れて後援会を結成して地元を斉藤一色に塗りつぶす一方市会議員

小野、栗、坂本、福田、大井川氏が四方八方に運動しているので斉藤候補の旗色はよい。

磐城の社会大學

十六日から開講決る

磐城市社会文化団体主催、市教育委員会後援の第四回夜間夏期大学講座は十六日から十八日までの三日間（毎夜六時半から）岡市小名浜一小講堂で開かれる。今年は主題に生活、婦人、経済の三大テーマを掲げあげ「生活」では週刊誌に〝アツチヤン〟を通販している漫画家、岡部冬彦氏（三日）「婦人」では去る三十年原爆を連れてイギリスに渡り、平和元の国際的話題を投げた医学博士、山本杉女史（五日）、「経済」では四倉町出身の読売新聞社論説委員、千葉成夫氏（六日）の一流講師が決定している。講座及び日程は次通り。

▽十六日「生活と漫画」＝漫画家岡部冬彦▽十七日「母性時代」＝医博＝山口吹き飛んだ神武景気＝元読売新聞論説委員、千葉成夫▽十八日「平市五日間の三大行事」＝平市長＝久保田豊

発足する石城競輪

一月ごろ

内郷、磐城、常磐、勿来四市では合同組織の競輪事業を行うことになり、先に自治庁に指定認可の申請をしていたが、去月十九日付で四市が競輪事務組合を組織する。競輪開催期間は昭和三十五年三月末までとする二条件のもとに認可されたことから、四市では一部事務組合結成につき八日までに臨時市議会を招集して議決を行うことになつた。この結果四市の議決書と会議録の謄本を県に提出、一部事務組合設立の認可を知事から受け通産省に届けを提出することになつている。このため四市では去月下旬に各市長が集まつて同問題を協議、四市競輪事業管理者に沼田内郷市長、副管理者に磯野常磐、古川勿来、三代磐城三市長および生田内郷市収入役の四名を選出したほか事務局を内郷市におくことを決めている。この競輪によつて赤字財政にあえぐ各市は一回開催毎に約三百余万円の純益が転がり込んでくるので大きな財源の一つとなつてくる。

このように四市競輪が出現すると平市競輪の開催数と利益もまた減少することになるが、平市ではすでに十月までの開催届出を通産省に提出しており、四市に八月中に知事の認可を受け通産省に届出を出しても届出の二カ月後でなければ開催出来ないことから四市競輪は早くとも十一月ごろとみられている。

平市競輪は去る二十六年二月発足以来、初年度の赤字を除いては年毎に増益の一途をたどり、全国百二十余の競輪場での利益が一番であり、市の黒字財政に寄与している。この黒字財政の基盤となつている平競輪借用のトツプを切つたのは常磐炭礦が打ち出した企業合理化で赤字財政を余儀なくされた内郷市で、これによつて財政難を切り抜けようとした。これに対して再建整備団体の指定を受けている勿来市、自主再建団体の磐城市なども借用をほのめかして四市組合同で借用することになつたもの。

お酒一良久
平市五日間の三大行事＝平市長＝久保田豊

四倉役場仮増築の入札

四倉町土木委員会は五日午前九時から役場会議室で開き、役場仮増築庁舎についての指名入札を行つた結果、地元土建業、八巻秀一氏に工費八十一万五千円で落札、今月七日着手して九月二十日までに完成する。

ラヂオ日東

磐梯旅行会員を募集

常磐観光社では十六日磐梯高原団体旅行を行う、会費は食付千六百円、自炊千二百円、人員は四十名出発は午前六時、コースは次の通り。

湯本―石川―郡山―山の家（一泊）―土湯―福島―浪江―平

天皇皇后両陛下お買上米

お元中に！
ご進答に！

千ばり　餅

☆全国地方発送承ります☆

松月堂　平市銀座街　電206

玉泉院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御恵与の儀は誠に勝手ながら御辞退申上げます
昭和三十二年八月
平市一丁目（河内屋）
白土好美

提真院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御恵与の儀は誠に勝手ながら御辞退申上げます
昭和三十二年八月
常磐市三函二四〇
渡辺純一

霊照院の新盆にあたりますが提灯其の他御供物等御恵与の儀は誠に勝手ながら御辞退申上げます
昭和三十二年八月
平市三丁目（長谷川美容院）
長谷川鉄重
長谷川みつ子

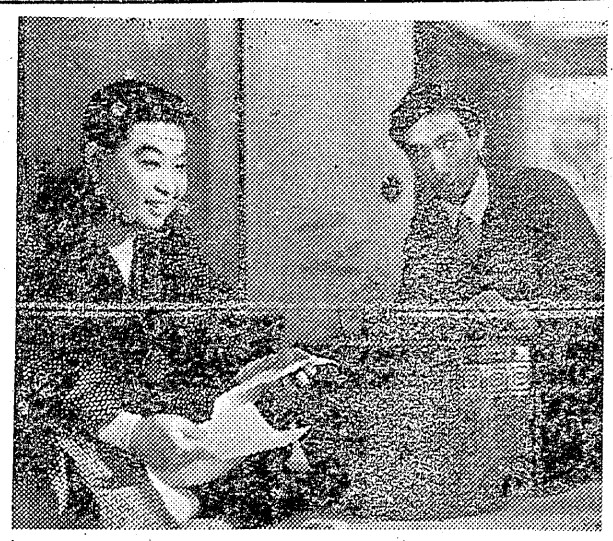
福寿院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御恵与の儀は誠に勝手ながら御辞退申上げます
昭和三十二年八月
平市三田小路（パール）
金子松男

厚源院の新盆にあたりますが提灯其の他御供物等御恵与の儀は誠に勝手ながら御辞退申上げます
昭和三十二年八月
平市一丁目（会津屋本店）
小原彌太郎

照顕院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御恵与の儀は誠に勝手ながら御辞退申上げます
昭和三十二年八月
平市月見町一五
野沢欽一郎

誠光院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御恵与の儀は誠に勝手ながら御辞退申上げます
昭和三十二年八月
平市大町三
河田昇

好厳院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御恵与の儀は誠に勝手ながら御辞退申上げます
昭和三十二年八月
平市四丁目
生田目忠助



京、山本で張合う

話題の映画「夜の蝶」

…◇キャスト◇…
マリ……京マチ子
おきく……山本富士子
けい……穂高のり子
同時上映（三日月秘文）
▽七日から十二日まで

幕末太陽伝

平館

フランキー、南田、石原

『ターザンと消えた探検隊』

世界館

日本の首都、東京の灯広汎たる海の中に現出する灯の集団、盛り場のナンバーワンは銀座である。銀座の裏通りネオンに色彩られて軒並みつづく酒場々々、この一劃には二百軒の酒場がある、この中でも銀座一流のバア・フランソワのマダム、マリは、派手すぎで明るい性格の女一流の生粋家文士や人気ある芸人を友達のように扱い、その上手な経営ぶりは銀座中でもナンバーワンだ。今日一店開業して明日は一店消えて行く激争の巻に、京都の酒場経営に成功した元祇園芸妓のおきくが、この一角に店をもつという噂が入つた。然も京女を呼び京風のスタイルで商売をするという新手にマリはただならぬ脅威を感ずると共に、彼女への敵対意識が湧く。銀座に乗り込んだおきくは、名酒場に顔を出し、マリの妹分であるリヴエラのマダムけいの処へも挨拶に廻つている。

マダムけい、元は銀座の花売娘この世界では立志伝中型ものだ。けいの恋人、秀二は……いや秀二にとつては男と女の適当な付合いであるが、秀二は芸大に学びながら、作曲家を夢みていた男。然じビルマ戦線で指さいたことから彼の運命は狂い今は美人女給の刈り集めに狂奔するマダム達の手先となり、女給周旋という一種の人入れを行つている。

文久二年十一月下旬といえば幕末の混沌たる世情に胃腸もひとしお暗い頃だつたが、ここ品川宿の食売旅籠の一軒「相模屋」の表で異人を斬り、相模屋に登つた三人の青年があつた。これは長州藩士でじよういん派の志道聞多、大和弥八郎、伊藤春輔といつた志士たちだつたが、その時彼等の潜した外国時計を拾い、ニヤリとして同じ相模屋へ登つた町人があつた。この男佐平次といつて、仲間四、五人を連れてのお遊びだつた。

この相模屋にこはるという売れ子の遊女がいた。そしてこはるの部屋には、高杉晋作を始め、志道ら三人がいびたり、御殿山英国公使館焼打ちの謀議をこらしていたが、桜主伝兵衛や妻お辰は、彼らのつもる勘定に手をやいていた。一方佐平次はといえば例の口八丁手八丁で早くも美女を侍らせて上機嫌。ところがこの男、懐中無一文で混血児の番頭寅助の持つて来た勘定書にも、ああのこうのと御託並べて、その挙句追い帰してしまつたというのだから大変な代物、かくして佐平次の居残りが始つた。荒神様のもの日の前日は、晴着の草履のと女たちは金策に四苦八苦するものだが、佐平次居残りの二日目がそのもの日の前日、お茶を引き通しのおそめは全くの大しけで、極夜たらい廻しの荒稼に繁昌するこはるが怨しくてならず、いつそ誰かと心中し、浮名流して世を去ろうと貸本屋金造を騙し、さん橋から海へざぶん。と行つたのは実は金造だけ後を追うはずのおそめは、顧客焚金坊主が来たとの知らせに、死ぬのをやめて引返したというのは、死んだ金造には全く浮ばれない話。

◇…キャスト◇…
居残り佐平次……フランキー堺
楼主伝兵衛……金子　信男
女房　お辰……山岡　久乃
▽同時上映「月下の若武者」
▽七日から十三日まで

双発の旅客機がアフリカのジヤングルの中に墜落した幸運にも、乗つていた遊び人の飛行士デイツク・ペンロツドと娘のダイアナ、社交界の女主人公、カミツジ・デイーン夫人、金がありすぎて退屈している男カール・クラスキー、社交欄記者〝ドートル〟フレツチヤーの五人は無事だつた。然し、付近のどう猛な蛮族のオバー族はこれを知つて不気味なドラムを鳴らした。密林の中をチーターを連れて歩いていたターザンがこのドラムを耳にして直ちに墜落の現場へ駆けつけた。ターザンは機の乗員が無事なのを知ると、扉を破つて一人一人救い出した。

オバー族には、象牙商人の白人ホーキンスが入り込んでいた。ホーキンスは莫大な量の象牙を手に入れるためオバー族の部落に巧く入り込んでいた。彼は乗員をオバー族の酋長オゴターロの機嫌をとろうと企んだ。折しもダイアナは一人で機体を離れ、秘かに狙つていたオバー族の蛮人どもに捕えられた。彼女の叫び声を聞いたターザンは喜ぶまま彼女を救いに駆けつけたが、蛮人達と斗う内に、誤つて川の中へ落ちて了つた。川から出て来た時には、ダイアナの姿も蛮人の姿も見当らなかつた。

◇…キャスト◇…
ターザン……ゴードン・スコツト
ホーキンス……ロバート・ビーティ
ガミツジ・デイーン……ヨランダ・ドンラン
▽同時上映「ロツキー山の決戦」
▽六日から十二日まで
聚楽館

生人ん牛ちやの望と色

大番（続）

劇民から7日

昭和七年——。初夏の縁に彩られた宇和島在を、両手に鞄と風呂敷包みをぶらさげた丑乙助が歩いて行く、株の相場に失敗していささか気分の重い帰国であつたが、帰つた家は、株を当てたときの恩恵を受けて新築されており逢う人々は何れも丑乙助を出世者と敬つてくれるので敗軍の将といえども故郷の味も満更捨てたものではなかつた。

難をいえばただ一つ東京で覚えた女遊びが不自由なこと、そこで宇和島築地の待合に通つて、梅香という芸者と怠ちネンゴロになつた故郷で十カ月を送つたころおまきさんから百円の為替を送つてきた。兜町で丑乙助の失敗もそろそろホトボリが醒めたから帰つてこいという。丑乙助はホクソ笑んだ。梅香には必ず東京に呼びよせてやると約束し、新たな斗志に溢れて再び上京した。上京した丑乙助の第一の仕事は故郷の森家から託された青海苔を今は有島伯爵に縁づいている可奈子にとどけることである。

…◇キャスト◇…
赤羽丑乙助……加東　大介
父　丑　治……谷　晃
母　タ　ネ……沢村　貞子
同時上映「別れの茶摘み歌」
▽七日から十二日まで

酒とビールは八時から呑め
藤越
ゆかた姿のパートタイマー嬢は夜八時からあらわれます。ひるの食堂とまた違つた気分のビヤホールでどうぞごゆつくりおくつろぎ下さい。
○生ビール（お通し付）八〇円より
○各種大ビール〃　一三〇円
○一級清酒（正一合入）　九八円
○水割サービスます百匁　五〇円
小名浜平市

貸店舗
▽店舗事務所向▽八畳六畳六畳▽床八坪外完備　平市才槌小路踏切南三色川材木店

新盆のお引物用は
静岡産
銘茶大特価
ご注文承ります
お茶の店　たて林
平市銀座街　電六六五

夜の蝶
大映カラー・総天然色
男ゆえに見せる女の美しさ
見逃せぬお盆映画!!
高川船山京
松崎越本
英敬英士チ
郎三二子子
三日月秘文
剣をとつては無双の美少女が男装してねらう復しゆうの悲願！
勝　新太郎　三田登喜子
瀬路　洋子　杉山昌三九
7日より世界館

内科
外科
金成医院
平市鎌田町　電八二六

きそばと寿司　宴会場の酒喜庵　デンワ一七一

雪解変化
オニ部
7日ヨリ
東映
楽しめるお盆映画
海が呼ぶ、唄が呼ぶ〇魅力二大スター〇が奏でる青春の交歓〇
美空ひばり
高倉　健
春日八郎
（チングレコード）
青い海原

同時上映
幕末太陽傳
フランキー堺
石原　裕次郎
南田　洋子
芦川いづみ
乱世を喰う世にも痛快な艶笑喜劇！
日活イーストマンカラー
天然色
堂々7日より公開
空前の追力と優美なロマン豪華キャストで描く日活スコープ第一弾まさに日本最大のお盆映画
長門　裕之
津川　雅彦
浅丘ルリ子
稲垣美穂子
香月美奈子
坂東好太郎
水島道太郎
「平凡」連載
月下の若武者
平館

夏祭りの終尾飾る豪華版

平の流燈花火大會

15日夏井川畔で開く

一万余の観衆を集め真夏のひと宵を豪華けんらんの花火でりよう味を満喫させるとともに夏まつりの終尾を飾る平市鎌田町区内会、同青年会主催の「流燈花火大会」は十五日午後七時から平市を縦断する夏井川畔で行われる。主催者側では今年こそ平名物にふさわしいものにしようと平当局の協力を受けて商店街、事業所などに呼びかけている。すでに仕掛を始め早打揚などの申し込みがぞくぞく届いており、この分だと昨年の倍にのぼる花火で観衆を満喫させそうだ。

現在までに市商工課と鎌田区で受けた花火申込みは仕掛が平籘輪、常磐炭砿、常磐交通、平市議会などの各一基、このほか相馬荒川花火店、平市渡辺統砲火薬が仕掛け花火に変るもので新作物「スターマイン」を各一基を出すことになつたが、これは従来の仕掛と違つて夜空に色とりどりに映えるというもの。また早打ちは五寸玉、四寸玉、単発打揚なども二百数十発が予定されて大会当日までには更に増加、鮫川や四倉におとらぬ豪華な花火大会になるものとみられている。

次の通り決つた。

▽個人声楽の部一位斎藤弘子（平一小五年）二位渡辺トミ子（平三中二年）三位佐藤亘（平一小四年）四位菅田三保子（平一中一年）五位片寄トシ子（高坂小四年）▽個人器楽の部一位三谷千穂（錦中二年）二位松本恵子（綴小五年）三位山口勉子（綴小六年）四位長谷部芳夫（金房小三年）五位桑折道夫（上遠野中二年）▽団体（合唱、合奏）一位平三中音楽クラブ二位綴小音楽部三位好間三小器楽部。

老婆バスにはねらる

五日午前十時半ごろ常磐市宝海農業高木トミエさん（六五）は市内三函地内国道をリヤカーを引いて通行中、常磐炭砿湯本鉱業所通勤バスに追突され肋骨と右腕を折り湯本病院に収容したが全身に全治三カ月の重傷を負つた。

選対委會お流れ

足並みそろわぬ労協

正面切つて斎藤、佐藤候補の対決になつた知事選はいよいよ中盤戦に入ろうとしている。序盤戦は低調だつた選挙熱も両候補の郡内進出から尻上に本調子となり斎藤派が大物を動員して平城浜通りを固めれば、一方の佐藤派も農村地帯をがつちり確保するなどようやく激戦の様相を見せはじめたが、当落のカギとなる革新票の行方については地区労が五日行う予定だつた選対委がお流れになるなど石城地方の選挙地図は斎藤候補に塗りつぶされる公算が強くなつた。

統一候補に頭を悩ました社会党県労協では結局党友として佐藤候補を支持することに決定、党組織をあげて応援することになつた。このため平、常磐、磐城勿来、好間などの市労協、地区労協で結成する石城地区労協ではきのう五日上部組織の決定にしたがつて知事選対策を協議する予定だつたが、常磐炭砿労組また勿来地区労、呉羽化学労大日本炭砿勿来砿労組など大世帯をもつ革新派では「佐藤候補支持はスジが通らない」さらに労組出身の高萩、本間県議らが党の主体性流として最後まで反対をしたなどいきさつもあつて各地区代表の意見がまとまらずに遂に流会となり今後の成行が注目されているなお常磐労組では五日中央委員会を開き協議したが佐藤候補について反対意見が相当強かつたが高萩政治対策部長らの佐藤候補推薦経過の説明で一応「上部組織の指令にしたがうが具体的なことは常任委員会に諮る」という結論を出したしかし常任委員のなかには「組織の決定があつても個人的な応援はしない」と反対の声も多いこのため党組織を上げて応援することになつている、佐藤知事の実現は形式的な応援になりそうだ。

子供音楽会入賞者　午後一時から平市公会堂で開かれ、郡内の小中学生三百五十名が参加したが入賞者は次の通り。

▽幼稚園の部＝一位＝平幼稚園、二位＝平幼稚園、三位＝平幼稚園、四位＝平幼稚園、五位＝平幼稚園▽小学校の部＝一位＝平一小、二位＝平一小、三位＝平一小、四位＝平一小、五位＝平一小▽中学校の部＝一位＝平一中、二位＝平一中、三位＝平一中、四位＝平一中、五位＝平一中▽合唱の部＝一位＝平一小、二位＝平一小、三位＝平一小、四位＝平一小、五位＝平一小

雨量今年の最高

各地に崖崩れ侵水続出

五日午後十時ごろから降り出した雨は、六日午前二時十分ごろから豪雨となつて石城地方全般に亘り水田、家屋、道路など多数の浸水によると、この豪雨は今年に入り最高と云われる雨量九十ミリ（六日午前九時現在）とその後二十ミリ合計百十ミリとなり本年最高の降雨を示した。各地での被害は六日午前十一時半現在次の通りである。

◇平市、古鍛冶町地内（好間街道）の県道片側が約二十米が崩れ落ちたのを始め、同地内の県道市員十米、延長二十米が崩潰したが、交通には支障はなく、平土木事務所人夫二十名が復旧工事に当つている。床下浸水、同市古鍛冶町家屋八軒。

◇内郷市、同駅前本通り家屋二十戸が床下浸水。

◇四倉町、大浦地区下仁井田、狐塚、大森各地内の水田約百二十町歩冠水。大野地区中島、白岩地内水田約六十町歩冠水。四倉地区町田地内水田約四町歩冠水。床下浸水、同町町頭地内、同本町渡辺五郎（宮吉寿し）外六軒、同仲町佐藤次郎兵衛外十軒、同本町佐藤銀平外三軒、同駅前日本屋商店など同じく川が急流したが、同町内の舗装個の溜の排水が悪く床下浸水と道路に溢れ出る始末であつた。

内郷署で暴力狩

3名逮捕27名調べる

内郷署はおぼんを前にいままでにない大がかりな暴力団狩を行い、六日までに同市高坂、白水などの不良二十七人を任意取調べ、うち常磐市湯本天王崎前科一犯採炭補手小山武広（三四）内郷市白水町広畑無職伊藤武二（三〇）同市宮町滝土工相沢勘治（三五）の三名を暴行、傷害住居侵入の廉いで逮捕した。

小山は去る七月十四日夜同市宮町金坂ダンスホール「黒猫」の帰り綴町の「ヒカリ食堂」でささいなことから吉田らと佐藤がけんかをしたが、その後両方の仲間が応援にかけつけ繰返して市内三カ所で十数名が乱闘、いずれも全治一週間のけがをしたもの。

伊藤は七月二十九日夜十時半ごろ同地内の桜井文子さん（二九）方に侵入、母の貞さん（三九）に娘をよめにもらいたいと言つてことわられ、ガラス八枚、板戸などをこわした相沢は七月三十一日夜十時ごろ同町金坂採炭夫高橋義雄さん（三）同町蛭子採炭夫久保一三夫さん（二九）らと酒をのみ二人をこん棒で殴り佐藤春治さん（三五）に喧嘩をしかけ酔つていた佐藤さんに殴るける乱暴を働き顔に二週間のケガをさせた。

高木は去る六月十三日夜綴町「一つけ十日間の傷を負わしたもの。また同署は六日同市白水川平売炭業高木辰雄（三）を傷害の疑いで逃捕した。

傷害二人組擧る

平署は五日平市六軒町とび職吉田一（三）でささいなことから吉田らと佐藤英司（三〇）少年（二）同市才槌小路運転手佐藤武雄（三〇）の三名を傷害容疑で検挙した。去る三十一日夜平市田町東部薬業会社附近の道路上

休業お知らせ！

毎度御引立をいただき誠に有難うご座居ます

来る　九日　十日　十一日　三日間
（旧十四　十五　十六）

勝手ながら休業させて頂きます

旅館　翠月

平市新田町　電三三二

内郷署で暴力狩

3名逮捕27名調べる

内郷署はおぼんを前にいままでにない大がかりな暴力団狩を行い、六日までに同市高坂、白水などの不良二十七人を任意取調べ、うち常磐市湯本天王崎前科一犯採炭補手小山武広（三四）内郷市白水町広畑無職伊藤武二（三〇）同市宮町滝土工相沢勘治（三五）の三名を暴行、傷害住居侵入の廉いで逮捕した。

小山は去る七月十四日夜同市宮町金坂ダンスホール「黒猫」の帰り綴町の「ヒカリ食堂」でささいなことから吉田らと佐藤がけんかをしたが、その後両方の仲間が応援にかけつけ繰返して市内三カ所で十数名が乱闘、いずれも全治一週間のけがをしたもの。

伊藤は七月二十九日夜十時半ごろ同地内の桜井文子さん（二九）方に侵入、母の貞さん（三九）に娘をよめにもらいたいと言つてことわられ、ガラス八枚、板戸などをこわした相沢は七月三十一日夜十時ごろ同町金坂採炭夫高橋義雄さん（三）同町蛭子採炭夫久保一三夫さん（二九）らと酒をのみ二人をこん棒で殴り

高木は去る六月十三日夜綴町「

傷害二人組擧る

平署は五日平市六軒町とび職吉田一（三）でささいなことから吉田らと佐藤英司（三〇）少年（二）同市才槌小路運転手佐藤武雄（三〇）の三名を傷害容疑で検挙した。去る三十一日夜平市田町東部薬業会社附近の道路上

雨量今年の最高

各地に崖崩れ侵水続出

五日午後十時ごろから降り出した雨は、六日午前二時十分ごろから豪雨となつて石城地方全般に亘り水田、家屋、道路など多数の浸水によると、この豪雨は今年に入り最高と云われる雨量九十ミリ（六日午前九時現在）とその後二十ミリ合計百十ミリとなり本年最高の降雨を示した。各地での被害は六日午前十一時半現在次の通りである。

◇平市、古鍛冶町地内（好間街道）の県道片側が約二十米が崩れ落ちたのを始め、同地内の県道市員十米、延長二十米が崩潰したが、交通には支障はなく、平土木事務所人夫二十名が復旧工事に当つている。床下浸水、同市古鍛冶町家屋八軒。

◇内郷市、同駅前本通り家屋二十戸が床下浸水。

◇四倉町、大浦地区下仁井田、狐塚、大森各地内の水田約百二十町歩冠水。大野地区中島、白岩地内水田約六十町歩冠水。四倉地区町田地内水田約四町歩冠水。床下浸水、同町町頭地内、同本町渡辺五郎（宮吉寿し）外六軒、同仲町佐藤次郎兵衛外十軒、同本町佐藤銀平外三軒、同駅前日本屋商店など同じく川が急流したが、同町内の舗装個の溜の排水が悪く床下浸水と道路に溢れ出る始末であつた。

八日はお盆入り

お盆のいわれと意義

……なか一日おいて八日はお盆の入り、この日から三日間は盆踊りやじゃんがら念……

……仏を通じて仏を供養するが、ひと口にお盆といってもそのいわれを知らずお盆……

……を一種の「お祭り」に感じとっている向も多い。しかしお盆にはもっと人間生……

……活の厳粛なしかも思想的な意味合が充分ふくまれている。そこでただ浮かれた……

……気分の「うら盆」を迎えるよりもその意義がなんであるかを紹介して見る。……

孝行者と非道の母

お釈かさまの十大弟子のなかに神通力第一といわれる目連尊者という方がいた。大へんな親孝行であったが、その母親は反対に非常に無慈非道な邪心の人だった。そのため、死ぬとたちまちが鬼道の世界に落ちて苦しんでいた。これを神通力で知った目連尊者は、この母を救いたいと思われ、色々の食べ物、飲物をととのえて母のところへ持つて行き与えようとしましたすると食べ物はたちまち焔になつて、どうしても母の口に入りませんでした。尊者は大へん悲しみ、師のお釈かさまのところへ行つて母を救う道について教えをこいました。そこでお釈かさまはこう云いました。

「お前の母はけん貧邪見の譏（ごう）によつてが鬼道に落ちたもので自業自得であるが、唯お前が最も善い功徳をつんだなら母はその罪障（ざいしょう）より救うことができよう。幸に七月十五日は九十日間の修業の終る日で多くの仏弟子が山から降りる日だから、その方々を接待して布施供養することは一番よい功徳を積むことである」

そこで早速尊者は「うら盆会」を設けて罪深かつた母をが鬼道の苦しみから救うことが出来た。これが仏説の「うら盆会」のできたいわれである。

都会並の交通量

平市内の交通量調査

磐城国道工事事務所では去る七月十六日に所員約三十名が平署員五十名の協力を受けて、平市の都市通過交通量調査を初めて行つたがその結果が三十一日までまとまつた。この調査は朝七時から夜七時までの間に平市に通ずる六号国道をはじめ好間、小川、磐間などに通ずる各県道の要所で通過する車輌一切について、どこから来てどこへ行くかなどを細かく調べたもの。

調査によると平市の中央にある二丁目常陽銀行前を通過した十二時間の高速車輌はスクーター、オートバイ九百二十二台、小型乗用車三百十九台、普通同三百三十五台、バス四百八十五台三輪車七百八台、小型貨物車三百二十二台、普通貨物車三百三十八台、特殊車十七台、合計三千二百六十六台、一時間に二百七十二台でいかに多いかがわかる。このほか調査時間に通つたモーターバイク、自転車は四千二百二十八台、牛馬車、荷車百十二台、歩行者九千五百二十三人となつている。

このばく大な車輌の動きをみると平市尼子橋を通つて内郷方部へ行く車輌は二百十台、このうち四倉方部から平神橋を経て来たものは七十八台、好間方部から古鍛冶町を経て来たもの六十四台、小川方部から北目を経て来たもの五十七台、豊間方部から谷川瀬を経て来たもの十一台となつている。

また市内から平神橋を通つて四倉方部へ行く車は九十七台、このうち七十台は内郷方面、十台は好間方面、十二台は小川、五台は豊間方面から来たもの。市内から好間へ行く車九十台のうち七十五台は内郷方面、十二台は四倉方面、九台は小川方面、三台は豊間方面から来たもの。小川方面へ行く車八十五台のうち五十四台は内郷方面十二台は四倉、八台は好間、十一台は豊間方面、豊間方面への行く車四十一台のうち二十四台は内郷方面、六台は四倉方面、七台は小川方面、四台は好間方面から来たものと判つた。

この調査により一番多く利用されているのは六号国道でしかも内郷方面から各地に活発な動きを見せていることが判つた。これにより将来の道路建設と物資の動きなどの貴重な資料となつた。

ラジオ古山

大谷石 井上 平五〇六六

内郷市で労働講座

内郷市労働講座は来たる二十日から二十四日までの五日間同市浅野記念館で開催される。講師及講義題目は次の通り。

「日本の産業」石山賢吉（ダイヤモンド社会長）「現代政党批判」新明正道（東北大学教授）「日本をめぐる国際情勢」井上清三郎（毎日新聞論説委員）「婦人問題」赤松常子（参議院議員）「労使関係の正しい在り方」加田哲二（日本大学教授）「賃銀論」大野信三（明大教授）「労働運動の歩いた道」上条慶一（日労者協会理事）「世界労連と自由労連」竪山利忠（拓大教授）「現在の労働運動」川崎竪雄（全労会議書記次長）「労働法から見た労働運動」窪谷淑夫（法政局事務官）なお講義時間は毎日午前午後の二回各三時間。

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

17:00 子供の時間 一丁目一番地
17:30 人さまざま
17:45 録音ニュース 素人即席演芸会 くいだおれ一代
18:00 お笑い三人組
18:20 ニュース解説
18:25 連続浪曲 今宵歌えば
18:35 時の動き 歌は結ぶ
19:00 ◆ラジオ福島 トニーの童話 赤胴鈴之助
19:15 人気歌手ヒットパレード
19:45 音楽の小箱

今晩の映画

19:10 録音風物誌 人情夜話
19:15 お笑い街頭録音 日立劇場
20:00 バンビタンアワー 夢のステージ 名作アルバム 右門捕物帳
21:00 時事解説

▼平文化ニュース マンガ 愉快なスケッチブック 七日マデ
▼世界館 六日迄 電六六 南蛮寺の侑愛男 誘惑からの脱出
▼東映劇場 六日迄 電六三 雪姫七変化 愛の紅とかげ
▼平館 六日迄 電六六 禁男の砂 国定忠治
▼民劇 六日迄 電二三 忘却の花びら 大当り三色娘
▼ひかり座 十二日迄 電二三六 荒野の無頼漢 白人部隊壊滅
▼銀楽館 十二日迄 電二〇 ロッキー山の決戦 黄金を追う男 ターザンと消えた探検隊
▼東映劇場 八日マデ 一〇、一〇 のんき侍大暴れ
▼世界館 六日まで 一〇、一〇 犯罪国境線

パンは開花亭

入賞店

皆様方より絶大なる御支援を頂き誠に有難度うご座居ました

七夕まつり

1等 当選御礼「笹飾」
常磐交通株式会社
取締役社長 野崎滴蔵

1等 団体
二丁目商店会
会長 古山東海

1等 原水爆にラドン怒る 当選御礼「造形」
衣料品のデパート 鈴藤 TEL 1654

造形 二等
ガリバーの観兵式 かみや 平市二丁目 電二五六

三等 盆踊り
月世界の独立祭 みよし 平市田町 電六九一

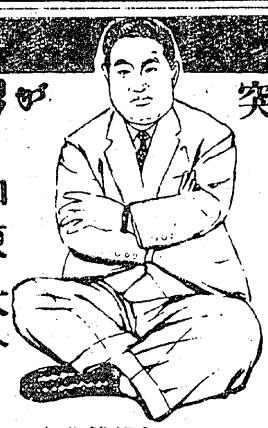
三等
密郡氷域を行く宗谷 ヤマカ 平市二丁目 電六〇五

笹飾 二等
きものと帯 かみや 平市二丁目 電二五六
紙と文具のデパート 坂本紙店 平市一丁目 電一八

三等 洋品の店
中野洋品店 平市二丁目 電五三
ヤマカ 平市三丁目 電六〇六

七夕賞
平餅本舗 松月堂 平市銀座通り 電二〇六
サツポロビール特約店 鍋嘉酒店 平市二丁目 電三三

團体 二等
三丁目商店会 会長 柏原英介
中央通り商店会 会長 加藤武久



★前篇解説つき★
風雲篇

男突猪て四人の美女を手玉にとつて

旧盆に贈る珍無類の娯楽大作！

続 大 前篇解説 八〇〇〇トンつき

加東大介
淡島千景
原節子
東野英治郎
河津清三郎

青山京子 中田康子 仲代達矢 平田昭彦 太刀川洋一 三木のり平

突走る色と野望の痛快人生!!

原作 獅子文六（週刊朝日連載・新潮社版）
脚色 笠原良三
監督 千葉泰樹

東宝 劇民 7日→13日 東宝